



障がい者虐待防止について考える ～利用者主体の支援とは～

8月25日(火)午後1時30分～4時30分

研修プログラム

- ① 5 類型 50 事例のケーススタディ
- ② 三大ロック(身体・薬物・スピーチ)の具体例
- ③ 虐待の範囲を検討するグループワーク

障がい児・者を取り巻く課題や現状、支援のあり方について学びながら、支援者の観点から有しておくべき基本を身につけましょう。
虐待を防ぐために、利用者主体の支援のあり方について今一度考え、職場として自分自身として取り組める方策について考えていきましょう。

- 【会場】 大阪市社会福祉研修・情報センター 5階 大会議室
- 【対象者】 大阪市内の福祉関係施設・事業所に勤務する職員
- 【定員】 50人 ※申込多数であれば抽選
- 【受講料】 1,500円
- 【申込方法】 ホームページからお申し込み(下記参照)
- 【受講決定】 8月上旬に、申込書に記入したメールアドレスあてに通知します
※8月12日(水)までに届かない場合は、お問い合わせ下さい

講師
大阪総合保育大学 短期大学部
現代生活学科 教授
前田 崇博



申込締切 7月23日(木)

【主催・問合せ先】 大阪市社会福祉研修・情報センター
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20 TEL(06)4392-8201

※お電話やFAXの受付はございません

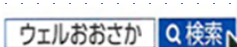
◎スマートフォンからのお申込み

・右側の二次元コードから、ページ下部の【申込み】ボタンを押し、必要事項を入力して、お申込みください。

◎パソコンからのお申込み

・ホームページ『ウェルおおさか』より、対象の研修をお申込みください。

<https://wel-osaka.com>



福祉の研修案内 メール配信サービス

7月以降に配信予定

当センターの「研修開催案内」をメールで配信いたします(無料)
研修を見逃さないように、左の二次元コードから登録をお願いします!

公式Xはこちら

